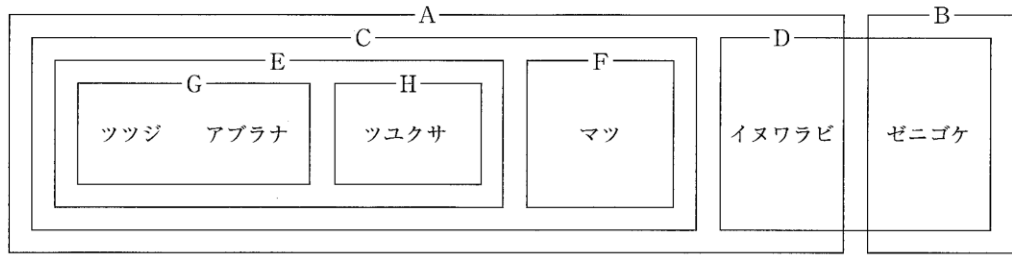


- 1 次の図は、ツツジ、アブラナ、ツユクサ、マツ、イヌワラビ、ゼニゴケを、それぞれの特徴をもとにA～Hのグループに分類したものです。これについて、あとの問いに答えなさい。



- (1) 次のうち、①AとBのグループを比較したとき、Aのグループのみに見られる特徴はどれですか。また、②CとDのグループを比較したとき、Dのグループのみに見られる特徴はどれですか。適当なものをそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 胞子をつくる。 イ 果実をつくる。
ウ 子葉が1枚である。 エ 雌株と雄株の区別がある。
オ 葉、茎、根の区別がある。

- (2) 次の文は、EとFのグループを、胚珠の状態に注目して比較したものです。文中の①、②にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

Eのグループは、Fのグループとは異なり、胚珠が①の中にある。このことから、Eのグループの植物は②植物とよばれる。

- (3) GとHのグループを、根と葉のつくりに注目して比較したとき、Hのグループに見られる特徴はどれですか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 根はひげ根で、葉脈は平行である。
イ 根はひげ根で、葉脈は網目状である。
ウ 根は主根と側根からなり、葉脈は平行である。
エ 根は主根と側根からなり、葉脈は網目状である。

- (4) Gのグループは、花卉のつき方に注目すると花卉がくっついているグループと、花卉が離れているグループの2つに分類することができます。このとき、ツツジと同じ花卉のつき方をしているグループに分類される植物はどれですか。次からすべて選び、記号で答えなさい。

- ア エンドウ イ サクラ ウ アサガオ エ タンポポ オ ナズナ

- (1) アはDのグループ、イはEのグループ、ウはHのグループ、エはBのグループ、オはAのグループに見られる特徴です。
(2) Fのグループは子房がなく胚珠がむき出しになっている裸子植物です。
(3) 子葉が2枚の双子葉類(G)の根は主根と側根からなり、葉脈は網目状(網状脈)です。子葉が1枚の単子葉類(H)の根はひげ根で、葉脈は平行(平行脈)です。
(4) 双子葉類はツツジ、アサガオ、タンポポなどの花卉がくっついているものと、アブラナ、エンドウ、サクラ、ナズナなどの花卉が離れているものに分類することができます。

(1)	①	オ	1
	②	ア	2
(2)	①	しぼう 子房	完答 (植物)
	②	ひし 被子	
(3)	ア		4
(4)	ウ、エ	順不同完答	